

できるところからはじめてみようファミサポ活動!

* 援助会員になって協力!

依頼に対して援助会員が不足している状況が続いています。

空いた時間に地域の子育てに参加して、地域社会と関わりませんか?

こどもの育ちを見守り、一緒に活動してくださる方を募集しています。



* ファミリー・サポート・センターの広報誌を置いて協力!

より多くの方にファミリー・サポート活動を知っていただくため、広報誌「ぼわんぼわん」を置いて周知にご協力いただける、四日市市内の商店や企業などを探しています。

ご協力いただける際には、センターまでご連絡ください。



四日市市ファミリー・サポート・センターは、四日市市子ども未来部 子ども未来課が設置し、NPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市が運営する「公設民営」で進められている子育て支援事業です。

ファミリー・サポート・センターのしくみ(入会から援助まで)

① 入会

依頼会員 (四日市市に在住または通勤通学していて、小学生以下のお子さんのいる人。子育てのサポートをしてほしい人)

登録会(※)もしくはセンターで入会の手続きをします。依頼会員講習会を受講してください。

※依頼会員講習会と登録会は年4回行います。センターで入会手続きをした場合は、別途講習会を受講してください。

援助会員 (四日市市在住で子育てのサポートをしたい人)

援助会員講習会受講後、入会手続きをします。講習会は年に2回開催します。(1年のうちに修了してください)

② 事前打ち合わせ *アドバイザーが立ち会います

- ① センターから援助会員を紹介し、事前打ち合わせの日程を調整します。
- ② 依頼会員・援助会員・アドバイザーで援助してほしい内容についてよく話し合います。お子さんとの顔合わせも行います。

依頼会員、援助会員双方の意思を確認し、成立すれば援助開始となります。

③ 援助開始

依頼したい日程が決まりましたら、センターにご連絡ください。援助会員に打診します。

《多子世帯等への補助制度》

- 補助の金額：利用料×1/2
- 補助対象者：多子世帯、多胎児世帯、ひとり親世帯、生活保護受給世帯、市町村民税非課税世帯

※詳しくは、市HPをご覧ください。子ども未来課(059-354-8069)へお問い合わせください。



市ホームページ

利用時間と報酬額

- ◆ 通常の利用
 - 7時~19時 800円/1時間
 - 上記以外の時間 900円/1時間
 - *日・祝・年末年始も同様です

- ◆ 援助前日の19時以降の依頼(緊急扱い)
 - 病後児や病児の援助
 - 7時~19時 1,100円/1時間
 - 上記以外の時間 1,300円/1時間
 - 日・祝・年末年始 1,300円/1時間
 - ◆ 宿泊 22時~翌日6時 5,500円/1日

ご連絡・お問い合わせ

四日市市ファミリー・サポート・センター

NPO法人 体験ひろば☆子どもスペース四日市内
〒510-0961
三重県四日市市波木町2040-2
TEL&FAX 059-323-0023
e-mail: famisupp@m5.cty-net.ne.jp
http://www5.cty-net.ne.jp/~famisupp/

電話受付日時

火~土曜日 8:30~19:30
(日・月・祝・年末年始 休み)



アクセス



- 最寄りのバス停 三重交通三重団地笹川線 笹川テニスコ場行き 聖母の家前または、南部丘陵公園南より徒歩5分
- 最寄り駅 四日市あすなろう鉄道 八王子線 西日野駅より2.9km
四日市あすなろう鉄道 内部線 泊駅から2.8km
- お車でお越しの方 近鉄四日市駅から6.6キロ、所要時間概ね15分。駐車場あります。

ファミサポの活動 ご存じですか?

ファミリー・サポート・センターは、子育てを助けてほしい人(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい人(援助会員)が会員になって助け合う組織です。

ファミリー・サポート・センターは、市民が市民の子育てを支え、こどもの育ちを見守る地域づくりにつながる活動です。

子どもがいろいろな大人と出会うチャンス!



車に乗る前に...

今回取材したのは、朝みおりさんを迎えに行き保育園に送る援助です。ほぼ毎日の依頼なので3人の援助会員がシフトを組んで援助しています。会員の皆さんに、活動で感じていることをお伺いしました。

依頼会員

下に双子が誕生したのを機に、長女の朝の保育園への送りをお願いしています。最初は大きすぎるのではと不安でしたが、優しい援助会員さん達のおかげで笑顔で登園できています。車内でのおしゃべりも楽しいようで、良い刺激になっています。(植松 奈々さん)

援助会員



今日はどんなお話を聞かせてくれるかな? といつも楽しみにお迎えに向かいます。登園したくない日などは、もっと上手く声を掛けられたら笑顔で登園できたかな? と振り返る事もありますが、これからもみおりちゃんの気持ちに寄り添いながら援助させてもらいたいと思います。(千馬 恵美さん)



お迎えの様子

車の送迎は今回が初めて。知らない人の車に乗ることも不安だと思い、慣れてくれるか心配でした。初めはみおりちゃんも緊張していましたが、お母さんと励ましたり、ぬいぐるみなど用意して不安を和らげることで車に乗ってくれて、楽しく保育園に通っています。(市岡 春菜さん)

少しでもお母さんの力になればと思うので活動を続けています。みおりちゃんはアンパンマン・ピンク色・フリフリの服・チョコレートが大好き。車の中でいろいろお話をしてくれて毎日元気に通っています。また双子のお子さんの成長も見られてうれしいです。(後藤 紀子さん)

どの援助会員さんも、依頼会員さんとお子さんが安心できるように心くばりされ、お子さんとの交流を楽しんでおられました。お子さんも毎日の車中のおしゃべりを楽しんでいるようでした。

子どもにとってファミサポが地域の大人と出会うチャンスであると感じました。

あなたも参加しませんか。

四日市市ファミリー・サポート・センター主催の講習会では、活動で大切にしている理念や、子育てに役立つ知識が幅広く学べます。ぜひ受講してください。

詳しくは中面へ

2026年度 第1回新規援助会員講習会

新規援助会員講習会を年に2回行っています。

今年度第1回講習会は下記の日程で行います。いずれの講座もこどもの成長を知る上で重要な内容で、四日市市民ならどなたでも受講できます。援助会員登録を希望される方は、1年以内に必ず全講座受講してください。

また、興味のある方は1講座からでも受講できますので、お気軽にご参加ください。



四日市市ファミリー・サポート・センター 講習会

2026年度 依頼会員講習会・ 新規依頼会員登録会

四日市市ファミリー・サポート・センターでは、ファミリー・サポート活動の趣旨と大切にしている考え方を理解していただくために、依頼会員向けの講習会を年4回開催しています。

同日、新規会員登録会も行いますので、入会をお考えの方は受講してください。

No	日にち	時間	内容	講師
1	6/7(日)	9:50~11:00	子ども・子育てを取り巻く環境とファミリー・サポート事業の意義	NPO法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市 理事長 上田真紀子
		11:00~12:30	基礎講座 「こどもの権利」	NPO法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市 理事 水谷孝子
2		13:15~15:45	発達障害について ~子どもの育ちをどう見守る~	特別支援教育士 杉本恵里子さん
3	6/13(土)	10:00~12:00	子ども虐待と社会的養護	三重県市町児童相談アドバイザー 鈴木聡さん
4		12:45~15:15	子どもの栄養と食生活	管理栄養士 馬場啓子さん
5	6/14(日)	10:00~12:00	子どもの心と身体の発達	三重県立看護大学 小児看護学 宮崎つた子教授
6		12:45~15:15	小児看護	
7	6/20(土)	10:00~12:30	子どもの心に寄り添う	東海大学 児童教育学部 児童教育学科 小池はるか准教授
8		13:15~15:15	子どものあそび	三重大学 教育学部 幼児教育講座 富田昌平教授
9	6/21(日)	10:00~12:00	こどもの病気やけがの時のホームケア	桜花台こどもクリニック 水谷健一院長
10		12:45~15:15	子どもの安全と事故・救急法	日本赤十字三重県支部 吉田由佳さん
11	6/27(土)	10:00~12:00	援助活動を円滑に進めるために講習のまとめ	四日市市ファミリー・サポート・センター アドバイザー

第1回 6月27日(土)
時間 13:30~16:30
(講習会のみの方は15:00終了)

第2回 9月12日(土)、第3回 11月21日(土)、第4回 2027年2月13日(土)
時間 13:00~16:00
(講習会のみの方は14:30終了)

会場 四日市市三浜文化会館

講習会終了後、希望される方は依頼会員の登録手続きができます。

定員 保育の都合により20名程度
(先着順に受け付けます)

参加費 無料

申込方法 TELにてお申し込みください
(TEL 059-323-0023)

保育 有り/無料(事前にお申し込みください)
保育対象 6か月~

登録を希望される人は以下のものをお持ちください
・登録者(保護者)の写真2枚
(縦3cm×横2.5cm)

援助会員フォローアップ講習会&交流会

3月15日(日)

フォローアップ講習会では、身近なものを使ってあそぶ体験をしたり、災害用伝言ダイヤル(171)を実際に試したりしました。交流会では、同じ依頼に関わっている方が久しぶりに顔を合わせるよい機会にもなりました。日頃の援助活動で感じていることをゆっくり話し合いました。

—参加者の感想より 抜粋—

- ・子どもと一緒にあそぶ時は、まず作ることから始めてもいいなと思いました。出来上がっている物で遊ぶつもりでしたが、講習に来て良かったです。
- ・皆が忙しい中、子どもと100%向き合って寄り添い見守ることが、こどもたちにとって何よりの時間、体験になるのだと改めて思いました。
- ・171の体験では、音声よりWEBで文字確認できる方が確実だと感じました。



洗濯ばさみと定規で作る
ビー玉ころがし



171の体験をしました

会場 四日市市三浜文化会館
四日市市海山道町1丁目1532-1

テキスト代 2,500円

定員 30名

申込締切 5月30日(土)

*受講希望者多数の場合は、全講座受講できる人を優先します。

☆保育あり(無料 先着10名)

対象 満6か月~ *事前にお申し込みください



三浜文化会館案内図

◇ の講座は、援助会員のフォローアップ講座になっています。受講から5年を過ぎている方は必ず受講してください。

◆お申し込み◆

センターにTELにてお申し込みください
TEL 059-323-0023

講習会ではこんなことも学びます

○幼児の視野体験 講座「子どもの心と身体の発達」より

幼児視野体験メガネを着用して、階段や狭い場所を体験します。こどもの視野が想像以上に狭いこと、事故やケガにつながりやすい状況がよく分かります。

左右の視界

150° (大人)

90° (6才児)

上下の視界

120° (大人)

70° (6才児)

視野体験メガネの実習



暮らしの中で意識してみませんか? 子どもの権利

—その3—

生きる権利
育つ権利

第6条

すべての子どもは、生きる権利・育つ権利をもっています

子どもの権利条約
日本ユニセフ協会抄訳

例えば、こどもが転んでいたらどのように声をかけますか?

「痛かったでしょ」と先に声をかけたり、「そんなのたいしたことないよ」「気にしなくていいよ」と言ってしまうことありませんか?

まずはそばで見守って、こどもが発する言葉を待ってみませんか?

言葉をそのまま受けとめることで、こどもは自分の気持ちを大事にされていると感じ、気持ちを出してもよいと安心感を持ちます。このような関わりがこども自身が自分の気持ちを大切にすることにつながります。

